

プラスチックごみの削減・循環施策の主な論点に沿った意見まとめ

1 発生抑制

- 天然資源の消費の抑制，海洋ごみ対策，地球温暖化対策等の幅広い課題に対応していくため，プラスチックに依存したライフスタイル・ビジネススタイルからの変革が求められている。国の戦略のマイルストーンにつながるものとなるよう，プラスチックの使用削減をどのように進めるべきか。

- 使い捨てプラスチック削減に取り組む事業者の推奨
- マイボトルの利用促進に向けた給水スポットの整備促進

2 循環施策

- プラスチックごみ（ペットボトルやプラスチック製容器包装，製品プラスチック等）のより質の高いリサイクルに向け，より効果的・効率的で持続可能な分別回収・リサイクルを図っていくにはどのようなことをすべきか。

- 分別啓発・指導の強化
- ペットボトルのより質の高いリサイクル方策の検討
- 製造・販売事業者と連携した使用済プラスチックの回収・リサイクルの促進
(拡大生産者責任の考え方を踏まえた働きかけ)

3 バイオプラスチック等の利活用の促進

- 再生可能資源を使用するバイオマスプラスチックや生分解性プラスチック・再生プラスチック等について，化石資源由来のプラスチックからの代替等の利用促進をどのように図るべきか。

- 焼却せざるを得ないものへのバイオマスプラスチックの利用促進
- バイオプラスチック等の有効活用策の検討

観光ごみ対策の主な論点に沿った意見まとめ

- 外国人宿泊客の増加や観光消費の活発化を受け、飲食店・宿泊施設・小売店等の観光関連事業者等によるごみの発生抑制及び分別・リサイクルの取組の強化が必要となっているが、この対策をどのように進めていくべきか。

- 観光関連事業者への分別の支援（事業者向け・観光客向けマニュアルの作成等）
- 観光関連事業者への食品ロス削減の取組支援（優良事例・先進事例の情報共有等）

- また、観光客に対しても、ごみの捨て方に関するマナー啓発や分別啓発を進めていく必要がある中、観光（おもてなし）とごみ対策の調和を図りつつ、多様な文化・慣習を持つ外国人観光客等に対し、この啓発をどのように進めていくべきか。

- 観光関連事業者と連携した効果的でわかりやすい啓発手法の検討
- 観光客と地域が協力して取り組むまちの美化・保全

ごみ処理体制（施設整備計画）の主な論点に沿った意見まとめ

2Rと分別・リサイクル施策を促進し、それでも残ったごみについては、ごみ発電とバイオガス発電によるエネルギー回収の最大化と温室効果ガス排出量の削減を図りながら、適正処理を進めてきている。さらには、焼却灰リサイクルの検討など、最終処分量の最小化へのチャレンジも行っている。

- 本計画期間内（～令和12年度）においては、北部クリーンセンターが稼働から20年目を迎え、延命するためには大規模改修（その間、2工場体制）が必要となる。また、近年多発する災害にも対応できるよう、延命して引き続き3工場体制を維持する必要がある。併せて収集・処理の更なる効率化を引き続き検討する。

- 様々な電化製品に内蔵された充電電池の回収促進による、収集・処理への負荷低減
- 埋立処分地の各延命策の本格実施に向けた検討
- 大規模災害への備えとしての新たな埋立処分地の確保に向けた検討

- 今後も引き続き、資源物（プラスチック、バイオマス等）の更なるリサイクルの促進に向け、民間活力の活用及び既存施設の有効利用など、施設整備をどのように進めていくべきか。

- 地域の特性を生かした資源リサイクル施設（小規模バイオマス発電施設等）の整備検討
- リユースの促進に向けた積極的な民間活用